

# 2014年3月期 第2四半期 決算説明会

ブラザー工業株式会社

2013年11月6日

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

## ◆2013年度第2四半期連結累計期間

- 売上高は前年同期に比べて増加、営業利益は減益となる。
  - ・通信・プリンティング機器は、欧州での売上が現地通貨建てでマイナスとなったが、販売が好調な米州が下支えとなり、事業全体では増収。
  - ・産業機器は、前年同期の大型受注の反動減により減収。
  - ・工業用マシンは縫製産業の設備投資意欲の回復を受け、アジア・中国向けが回復。
- 営業利益は、円安による押し上げはあるものの、産業機器の売上の減少や、通信・プリンティング機器の生産増強に伴う設備投資（減価償却費）の増加、販売管理費の増加などにより、昨年と比べ減益となる。

## ◆2013年度通期見通し

2013年度通期の連結業績見通しは、売上高は円安効果により、前年同期比で大幅な増加を見込む。営業利益は、販売管理費の増加や、開発費・償却費などの固定費の増加などの圧迫要因があるものの、為替の円安効果もあり、増益となる見通し。

# 2014年3月期 第2四半期累計実績



単位：億円

	第2四半期 6ヶ月累計			
	2014/3 2Q(累計実績)	2013/3 2Q(累計実績)	増減額	増減率 ( )は為替影響を 除いた増減率
売上高	2,884	2,445	438	17.9% (1.3%)
営業利益	194	196	△ 3	△1.3%
営業利益率	6.7%	8.0%	△1.3%	
営業外損益	△ 40	4	△ 45	
経常利益	153	200	△ 47	△23.5%
特別損益	△ 3	△ 7	4	
法人税他	86	45	41	
四半期純利益	64	148	△ 84	△56.6%

単位：円

換算レート	USD	97.99	79.43	18.56
		EUR	128.79	101.12

- ▶ 売上高は、為替のプラス影響や、通信プリンティング機器が堅調に推移したことにより、増収となる
- ▶ 営業利益は、為替のプラス影響はあるものの、M&S事業の減収や、販管費の増加などにより、減益となる

# 2013年度の方針（期初方針）

- ◆〈プリンティング&ソリューションズ事業〉  
ビジネスセグメントでの販売強化や、新興国ユーザーのニーズに特化したモノクロレーザーの戦略商品を投入し、売上の拡大を目指す
- ◆〈サービス&ソリューションズ事業〉  
製品力の強化や、サービス提供基盤の拡大を通じ、売上の拡大を目指す
- ◆〈パーソナル&ホーム事業〉  
新たな価値を提案する製品の投入を通じて顧客基盤を拡大すると共に、ベトナム工場でのローコストオペレーションを実現し、競争力の更なる強化を実現する
- ◆〈マシナリー&ソリューション事業〉  
競争力のある新製品を投入し、アジア市場での販売力を強化するとともに、コストダウンを通じた体力強化を図る
- ◆〈ネットワーク&コンテンツ事業〉  
カラオケ事業の商品・サービスの充実や、業務プロセスの改善により、安定的な収益を確保するとともに、健康事業などの新規事業の育成を目指す
- ◆〈工業用部品事業〉  
(株)ニッセイとの早期のシナジー実現のための活動を推進する

## ➤ 新興国向けモノクロLBPの投入



HL-1110



DCP-1510



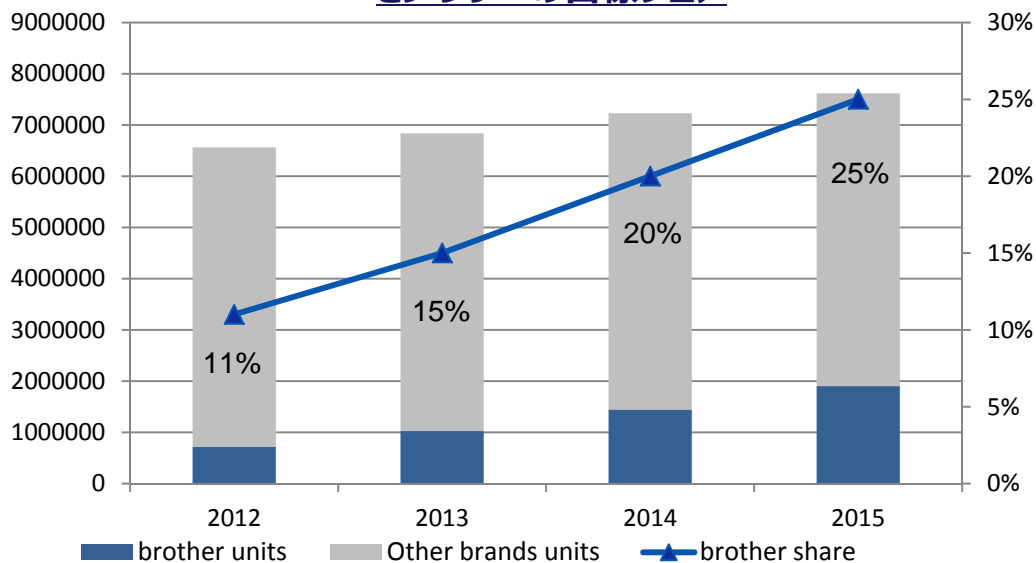
MFC-1810



MFC-1815

- 1 手頃な価格設定（本体・消耗品）
- 2 紙の品質に関わらず、紙詰まりを起こし難い機構を採用
- 3 長期間の使用に耐える、高耐久性
- 4 ベトナム生産による、コストダウンの実現

アジア地域のモノレーザー市場の見通し  
とブラザーの目標シェア



## ➤ 競争力のある新製品を投入し、アジア市場での販売力を強化

### <工業用ミシン>

本縫い戦略商品の投入



本縫戦略機 S-7000DD

- 1 油汚れが少ないクリーンな縫製を実現
- 2 上位モデル並みの縫い品質を実現
- 3 コストダウンの強化による価格競争力の実現

### <産業機器>

生産効率の大幅向上を実現するコンパクトマシニングセンターと小型複合加工機を発売



コンパクトマシニングセンター  
SPEEDIO S500X1

- 1 生産性の飛躍的な向上
- 2 新型NC搭載による、ユーザビリティの向上
- 3 省エネ機能の積極採用により、高い環境性能を実現



小型複合加工機  
SPEEDIO M140X1

- 1 旋削とマシニングの複合加工による高い生産性を提供
- 2 新型NC搭載による、ユーザビリティの向上
- 3 省エネ機能の積極採用により、高い環境性能を実現

## ● サービス&ソリューションズ事業

<テーマ>

製品力の強化や、サービス提供基盤の拡大を通じ、  
売上の拡大を目指す



## ● パーソナル&ホーム事業

<テーマ>

中高級機種の新なる拡販と、新興国市場の  
開拓強化の推進



## ● ネットワーク&コンテンツ事業

<テーマ>

カラオケ店舗事業の競争力強化

- ✓ エクシングによる(株)メディアクリエイトのTOB成立
- ✓ 直営店舗強化のためのテコ入れ策の実施

## ● 工業用部品事業

<テーマ>

(株)ニッセイとの早期のシナジー実現のための活動を  
推進

- ✓ 新規事業領域での協業拡大の検討
- ✓ 海外での(株)ニッセイ製品の販売拡大に向けた戦略の立案

# 2014年3月期 業績予想

単位：億円

	2014/3 予想 (A)	2013/3 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 ( )は為替影響を 除いた増減率 (A/B - 1)	2014/3 前回予想 (8/6発表) (C)	増減額 (A - C)
売上高	6,000	5,161	839	16.3% (3.5%)	5,850	150
営業利益	350	298	52	17.5%	350	0
営業利益率	5.8%	5.8%	0.1%		6.0%	△0.1%
営業外損益	△ 55	△ 66	11		△ 30	△ 25
経常利益	295	231	64	27.5%	320	△ 25
特別損益	△ 5	48	△ 53		△ 15	10
法人税他	125	101	24		120	5
当期純利益	165	178	△ 13	△7.4%	185	△ 20

単位：円

換算レート	USD	96.77	83.23	92.84
	EUR	127.45	107.57	122.78

- 売上高は、為替のプラス影響や、通信プリンティング機器が堅調に推移することにより、増収となる見通し
- 営業利益は、P&S事業における成長施策による圧迫要因があるものの、為替の円安効果が大きく、増益となる見通し



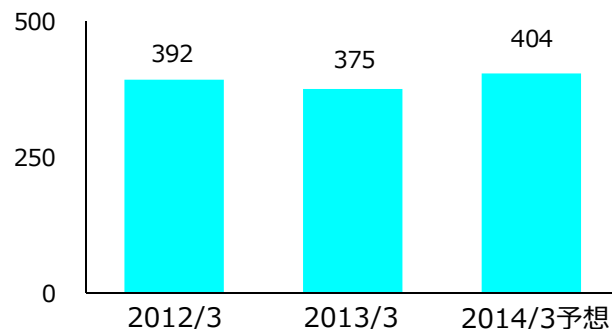
## 中期戦略に基づく成長戦略の推進

- ◆ 〈P&S〉新興国向けモデルの拡販及びビジネスセグメント顧客向けアプローチの強化によるLBP市場でのシェア拡大
- ◆ 〈P&H〉新たな価値を提案する新カテゴリ製品の投入
- ◆ 〈工業用マシン〉付加価値の高い製品による新興国市場の売上拡大
- ◆ 〈産業機器〉ソリューション強化による、自動車関連顧客への売上拡大
- ◆ 〈N&C〉通信カラオケ機器のシェアの維持拡大とカラオケ直営店の競争力強化
- ◆ 〈工業用部品〉(株)ニッセイとの早期のシナジー実現のための活動推進

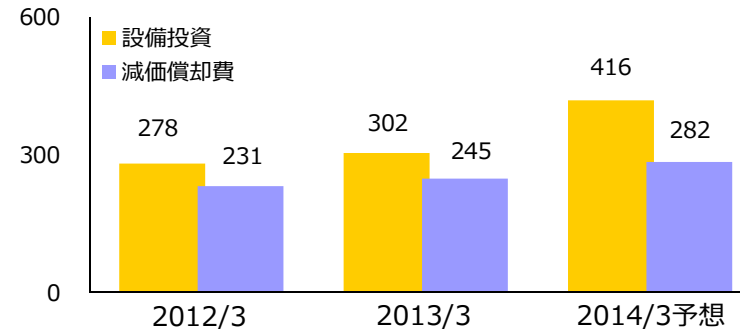
## 成長と収益を支える、「開発・製造」体制

- ◆ 研究開発投資は適正水準を意識し、効率化を進める
- ◆ 生産の自動化・省力化を目的とした設備投資を継続

研究開発費（億円）



設備投資・減価償却費（億円）



## CS B2015の基本方針に変更なし

### 2015年度 業績目標

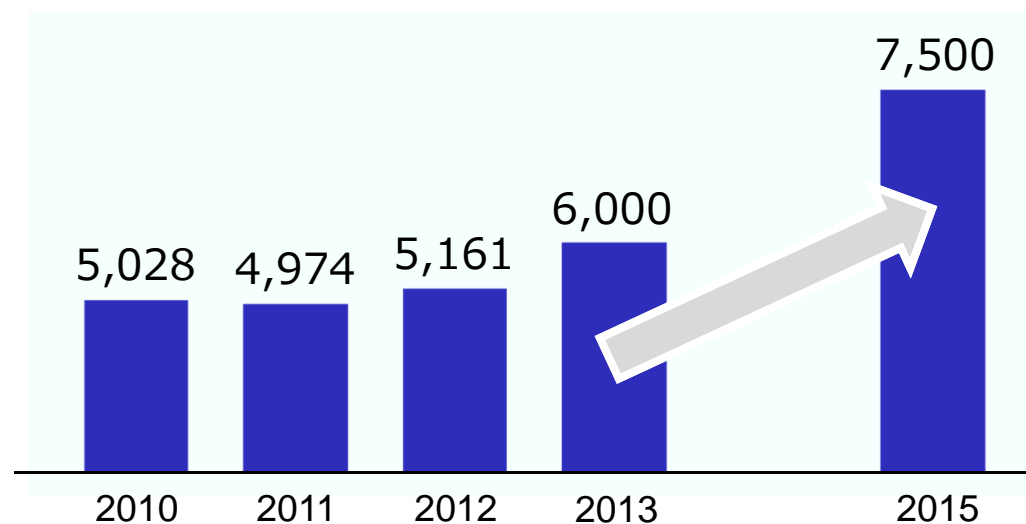
売上高 7,500億円

営業利益 580億円

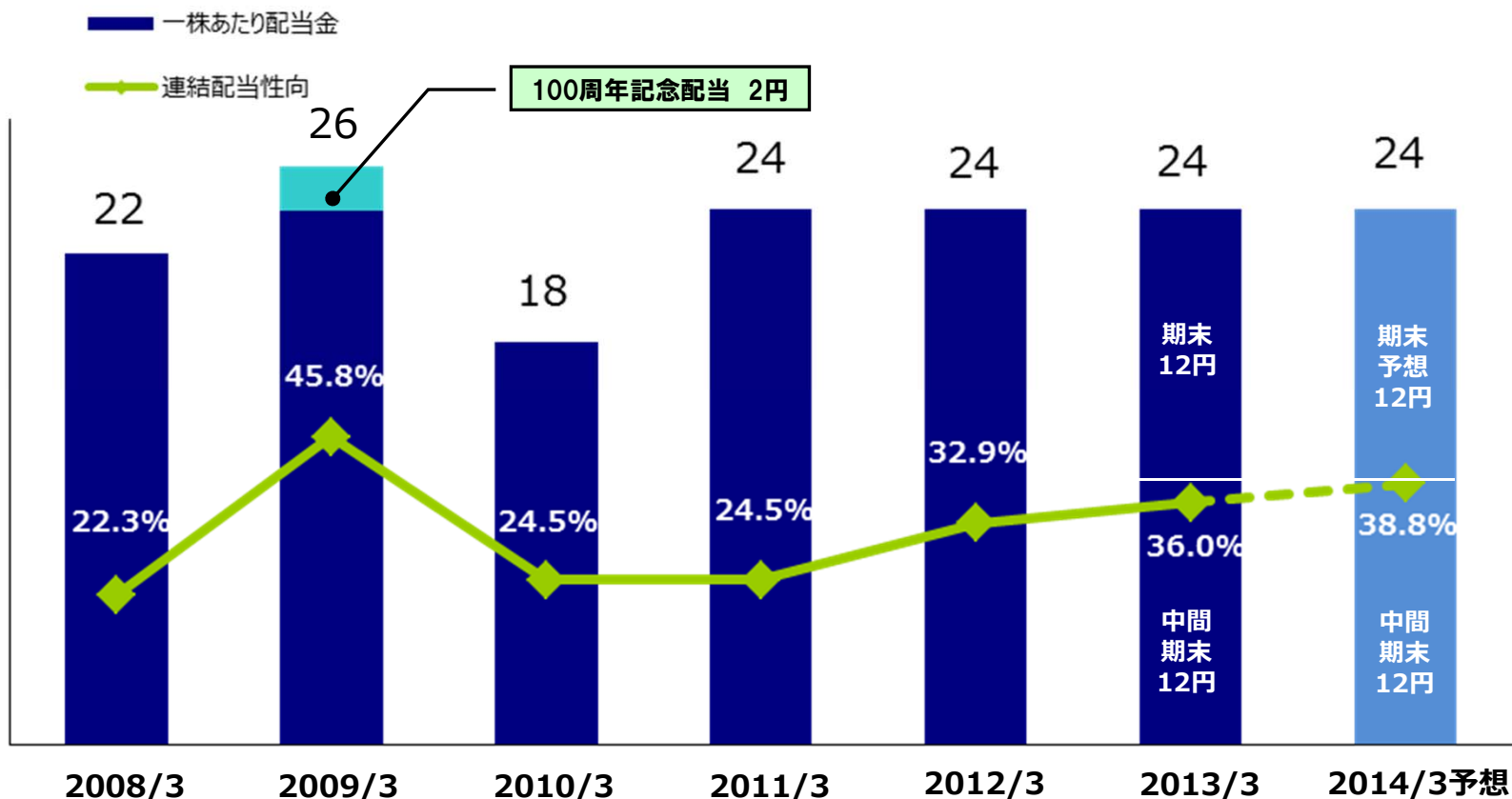
営業利益率 7.7%

### 全事業、全地域での成長

- 新規事業・新規商品の育成・拡大
  - 新興国での拡大
  - グローバル戦略の推進
  - M & A、アライアンスの推進



- ✓ 連結配当性向30%程度とする基本方針に変更なし  
下期も安定的な配当を実施予定
- ✓ 子会社（株式会社ニッセイ）保有の自己株式を取得（上限42億円）  
（普通株式3,061,660株(上限)(自己株を除く発行済株式総数に占める割合 1.1%)



2014年3月期第2四半期累計期間の実績と  
2014年3月期の見通し

# 連結決算の概要 <2014年3月期 第2四半期累計実績>



単位：億円

	第2四半期 6ヶ月累計			
	2014/3 2Q(累計実績)	2013/3 2Q(累計実績)	増減額	増減率 ( )は為替影響を 除いた増減率
売上高	2,884	2,445	438	17.9% (1.3%)
営業利益	194	196	△ 3	△1.3%
営業利益率	6.7%	8.0%	△1.3%	
営業外損益	△ 40	4	△ 45	
経常利益	153	200	△ 47	△23.5%
特別損益	△ 3	△ 7	4	
法人税他	86	45	41	
四半期純利益	64	148	△ 84	△56.6%

単位：円

換算レート	USD	97.99	79.43	18.56
	EUR	128.79	101.12	27.67

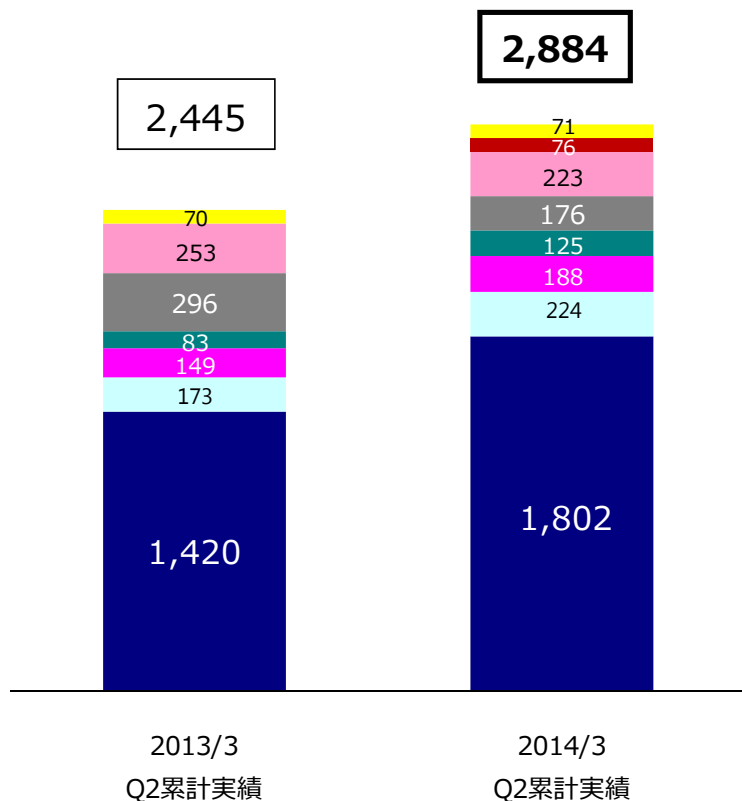
- 売上高は、為替のプラス影響や、通信プリンティング機器が堅調に推移したことにより、増収となる
- 営業利益は、為替のプラス影響はあるものの、M&S事業の減収や、販管費の増加などにより、減益となる
- 経常利益は、為替差損を計上した影響により、減益となる
- 四半期純利益は、経常減益及び税効果会計の影響による税負担増の影響により、大幅な減益となる

# 連結業績実績 セグメント別

<2014年3月期 第2四半期累計実績>

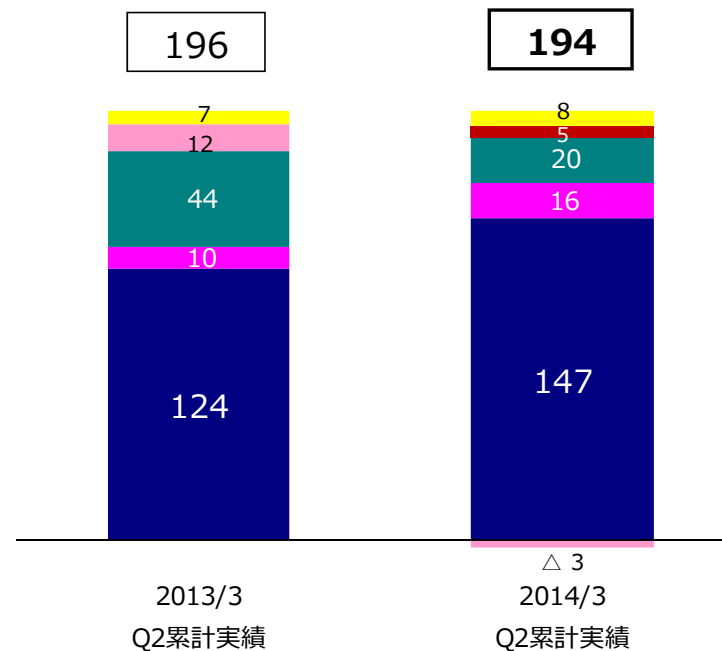


## 売上高 (億円)



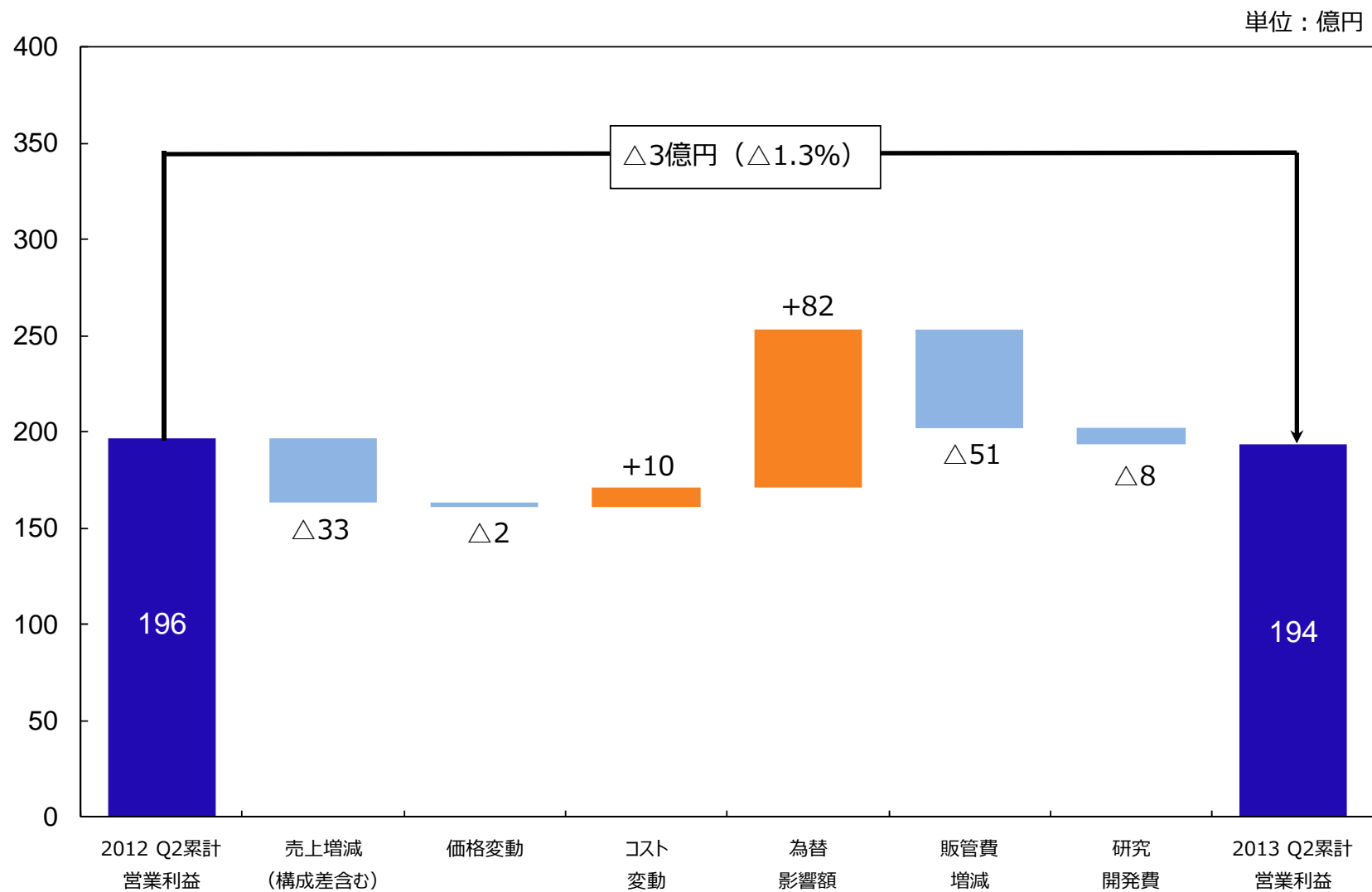
- 通信・プリンティング機器
- 家庭用マシン
- 産業機器
- 工業用部品
- 電子文具
- 工業用マシン
- 通信器材・コンテンツサービス
- その他

## 営業利益 (億円)



- プリンティング&ソリューションズ
- パーソナル&ホーム
- マシナリー&ソリューション
- ネットワーク&コンテンツ
- 工業用部品
- その他

# 営業利益増減要因 <2014年3月期 第2四半期累計実績>

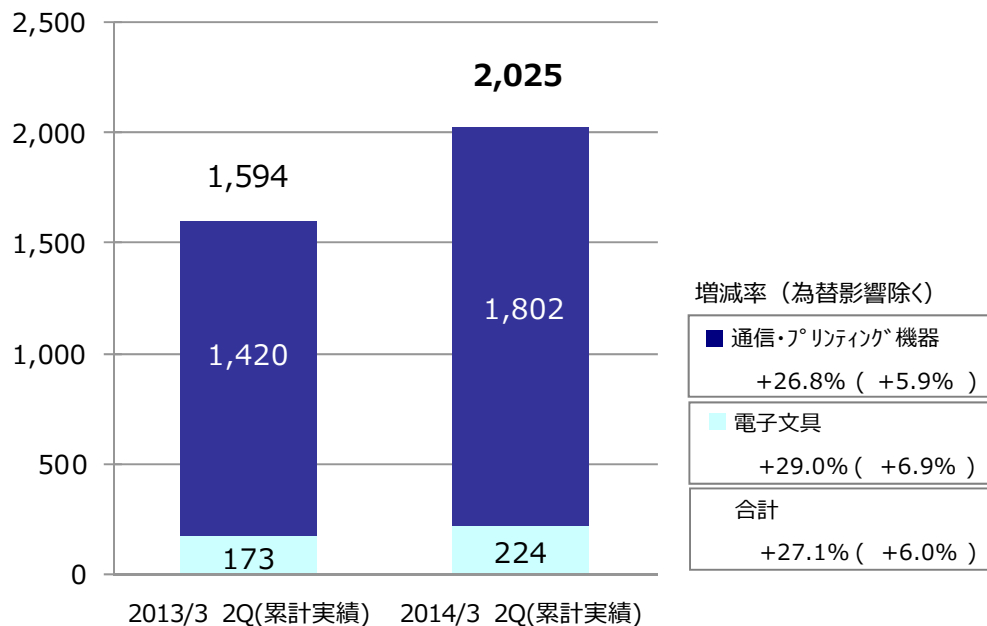


# プリンティング & ソリューションズ 事業

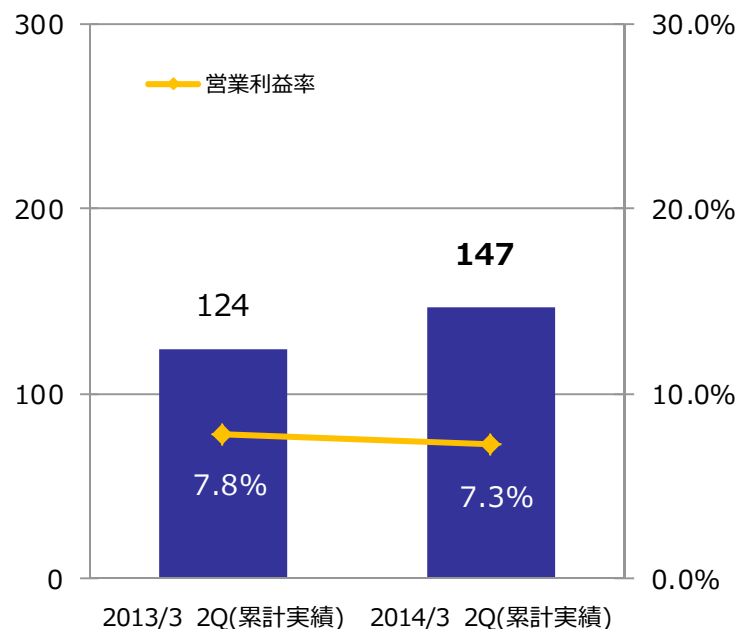
## 売上高・営業利益 <2014年3月期 第2四半期累計実績>



### 売上高 (億円)



### 営業利益 (億円)



#### 通信・プリンティング 機器

地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 2Q(累計実績)	2014/3 2Q(累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	540	738	+36.6% (+11.9%)
欧州	464	569	+22.6% (△2.9%)
アジア他	199	258	+29.8% (+7.1%)
日本	217	236	+8.8% (+8.8%)

#### 電子文具

地域別売上高内訳 (億円)

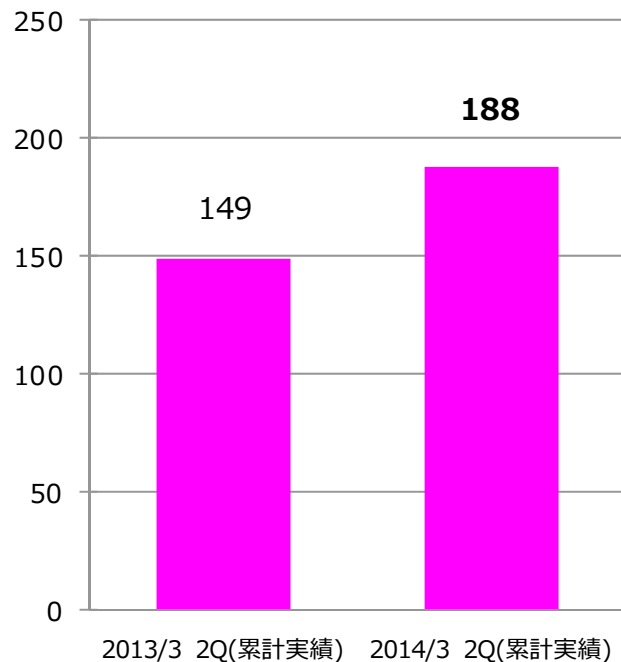
	2013/3 2Q(累計実績)	2014/3 2Q(累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	83	107	+29.3% (+5.5%)
欧州	51	65	+26.5% (+0.0%)
アジア他	20	28	+38.2% (+12.9%)
日本	19	24	+24.8% (+24.8%)

- 売上高は、為替のプラス効果により各地域で増収となるが、需要が低迷した欧州では、現地通貨ベースで前年割れとなる
- 営業利益は、販管費の増加はあるものの、為替のプラス影響により、増益となる



## 売上高

(億円)

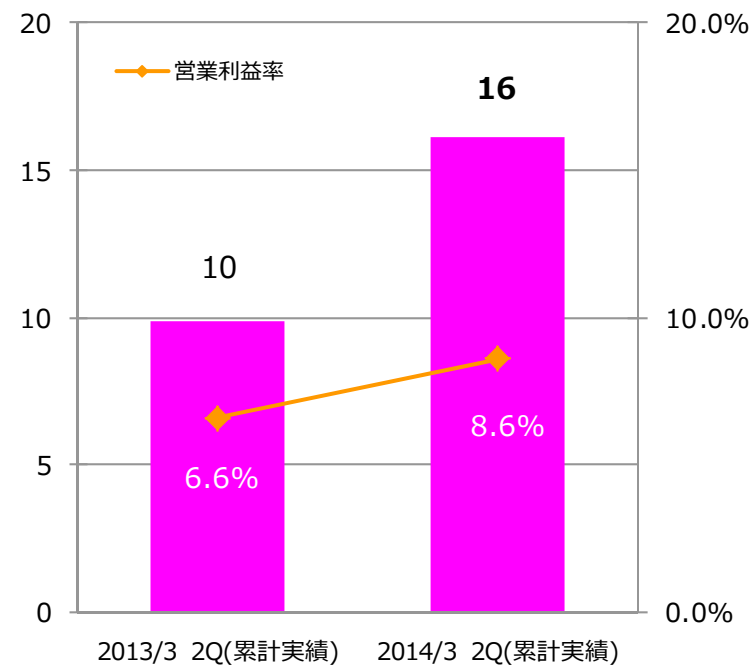


増減率 (為替影響除く)

家庭用ミシン  
+25.7% ( +5.0% )

## 営業利益

(億円)



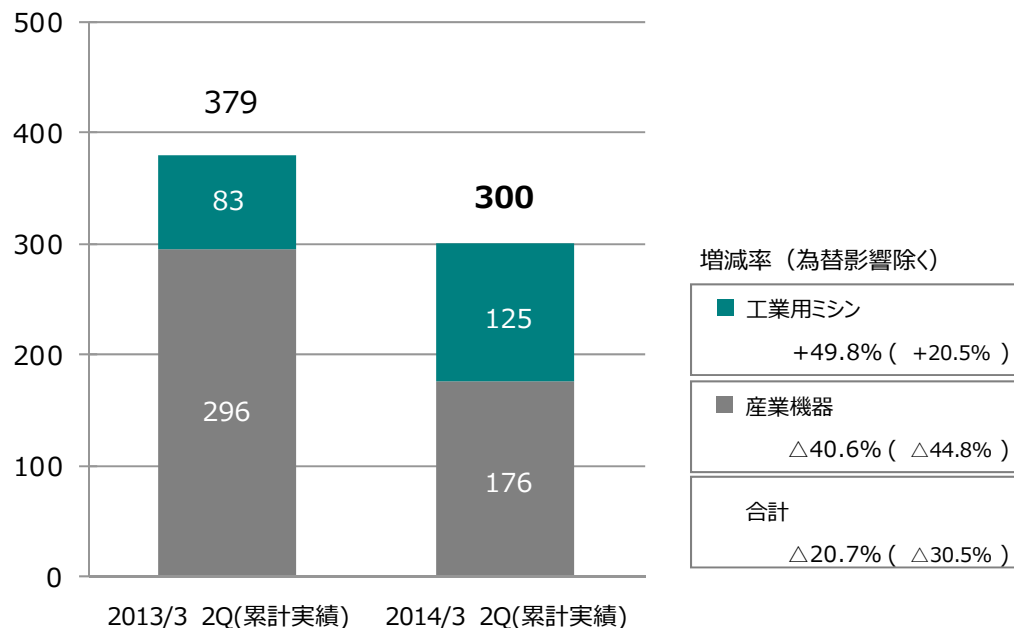
## 家庭用ミシン

地域別売上高内訳 (億円)

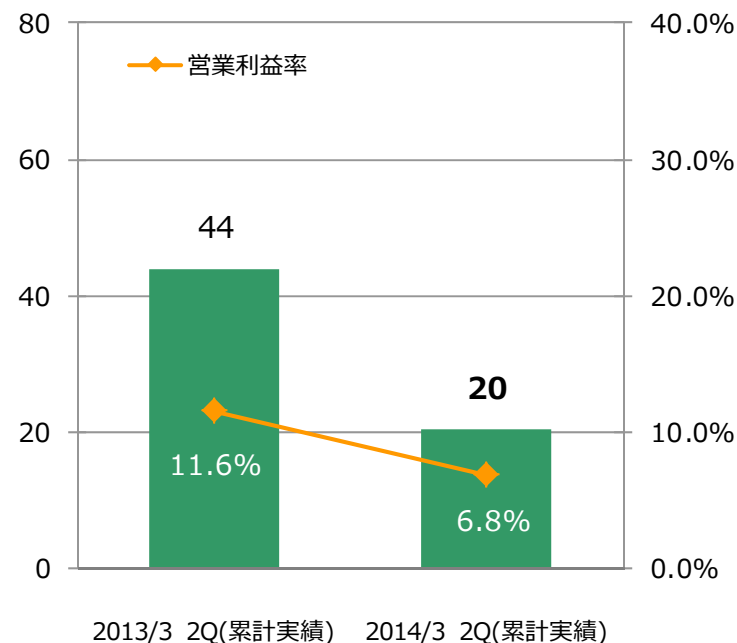
	2013/3 2Q(累計実績)	2014/3 2Q(累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	73	99	+35.0% (+10.4%)
欧州	36	46	+30.2% (+1.8%)
アジア他	13	16	+24.3% (+2.7%)
日本	27	26	△4.1% (△4.1%)

- 欧州の需要が若干弱かったものの、米州の売上が堅調に推移し、全体を牽引
- 営業利益は、為替のプラス効果もあり、増益となる

### 売上高 (億円)



### 営業利益 (億円)



#### 工業用マシン

#### 地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 2Q(累計実績)	2014/3 2Q(累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	16	22	+36.4% (+10.6%)
欧州	13	17	+33.7% (+4.7%)
アジア他	51	82	+59.9% (+28.0%)
日本	3	3	+16.1% (+16.1%)

#### 産業機器

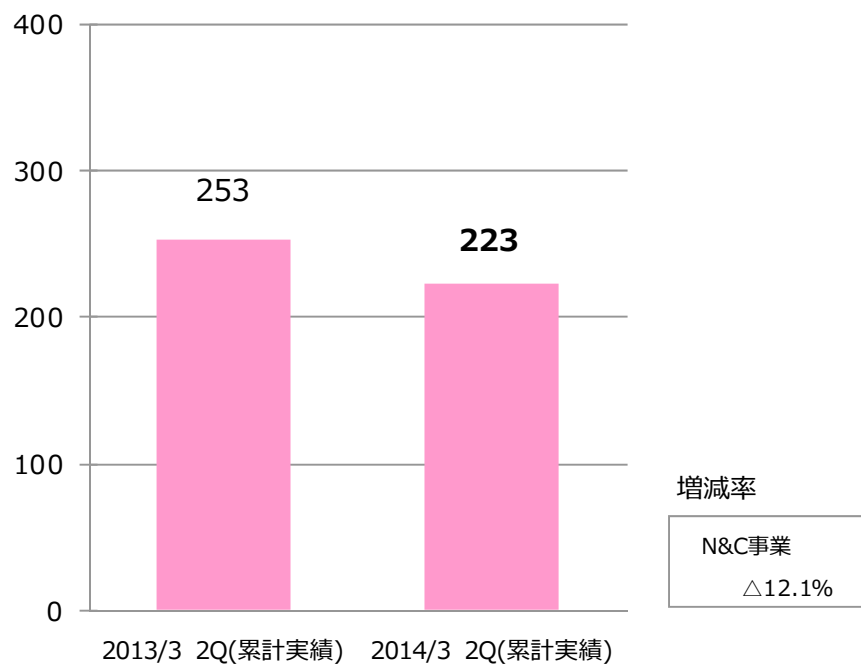
#### 地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 2Q(累計実績)	2014/3 2Q(累計実績)	増減率
米州	10	10	+4.2%
欧州	6	6	△2.1%
アジア他	253	142	△44.0%
日本	27	18	△32.3%

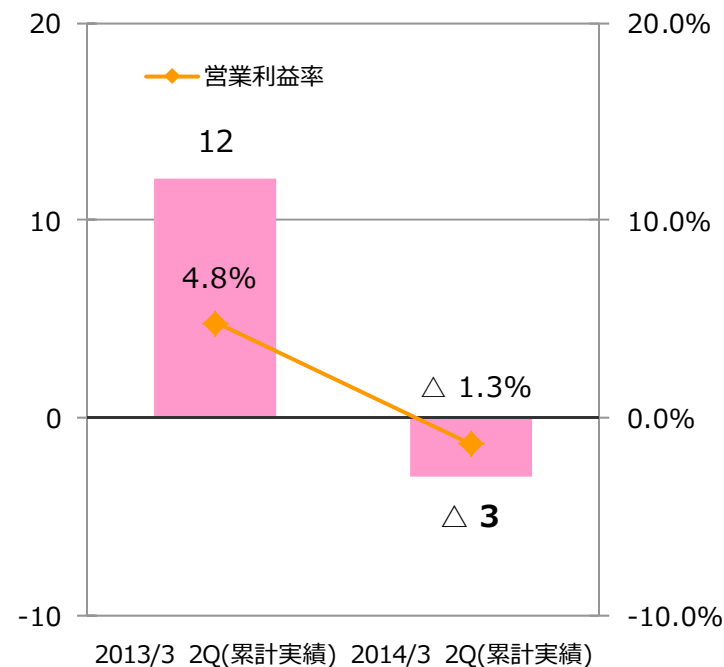
- 工業用マシンは、中国・アジア地域での需要回復により、増収となる
- 産業機器は、IT関連の需要縮小の影響により、減収となる
- 減収に伴い、減益となる

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

### 売上高 (億円)



### 営業利益 (億円)



- 昨年発売したカラオケ機器の新モデルの反動減により、減収となる。
- 減収及びカラオケ直営店のリニューアル費用などの販管費の増加により、赤字となる。

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

# 連結業績予想 <2014年3月期 通期予想>



単位：億円

	2014/3 予想 (A)	2013/3 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 ( )は為替影響を 除いた増減率 (A/B - 1)	2014/3 前回予想 (8/6発表) (C)	増減額 (A - C)
売上高	6,000	5,161	839	16.3% (3.5%)	5,850	150
営業利益	350	298	52	17.5%	350	0
営業利益率	5.8%	5.8%	0.1%		6.0%	△0.1%
営業外損益	△ 55	△ 66	11		△ 30	△ 25
経常利益	295	231	64	27.5%	320	△ 25
特別損益	△ 5	48	△ 53		△ 15	10
法人税他	125	101	24		120	5
当期純利益	165	178	△ 13	△7.4%	185	△ 20

単位：円

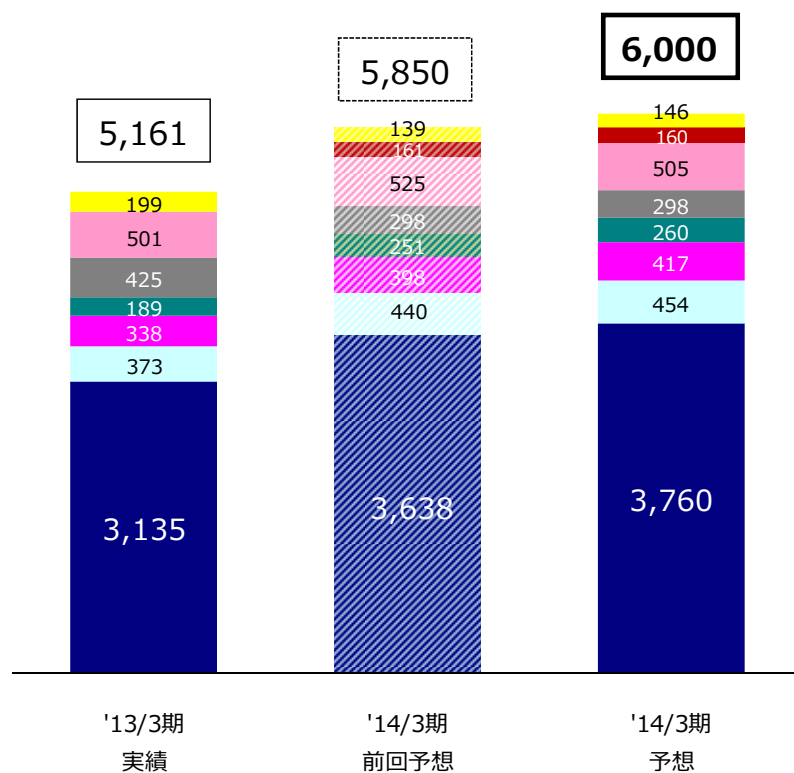
換算レート	USD	96.77	83.23	92.84
	EUR	127.45	107.57	122.78

## 前回予想からの変更点

- 売上高は、通信・プリンティング機器の欧州の見通しを引き下げたものの、為替の想定レートの変更により、上方修正となる
- 営業利益は、為替の想定レートを円安に変更したプラス影響はあるが、P&S事業の欧州地域の見通し引き下げと、N&C事業の見通し引き下げの影響により相殺され、予想値の変更は無し
- 経常利益、当期純利益は、為替の想定レートを円安に変更したことに伴う為替差損の発生を織り込み、下方修正となる

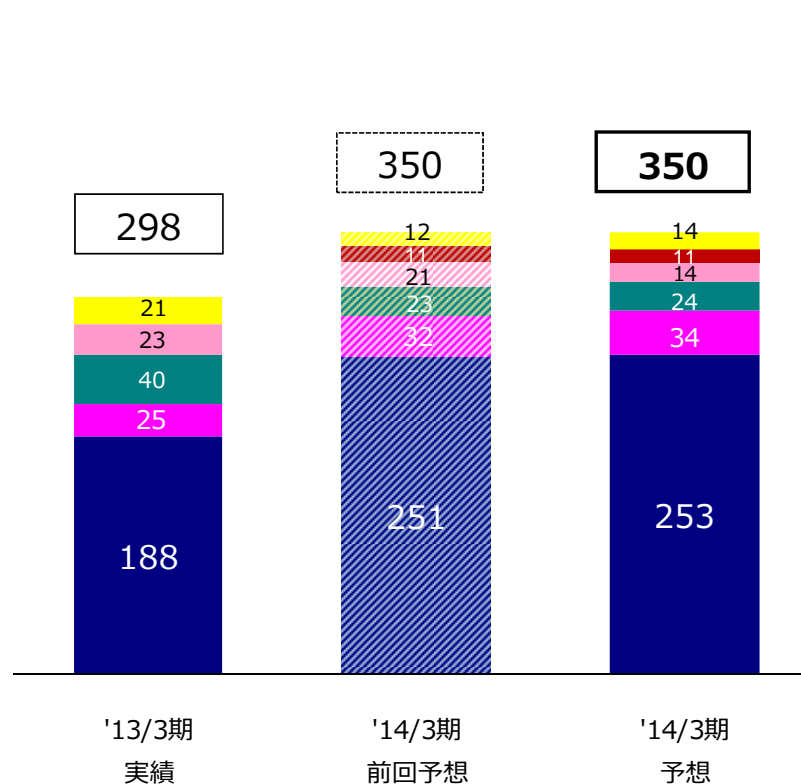
# 連結業績予想 セグメント別

## 売上高 (億円)



- 通信・プリンティング機器
- 家庭用マシン
- 産業機器
- 工業用部品
- 電子文具
- 工業用マシン
- 通信がらみ・コンテツサービス
- その他

## 営業利益 (億円)



- プリンティング&ソリューションズ
- パーソナル&ホーム
- マシナリー&ソリューション
- ネットワーク&コンテツ
- 工業用部品
- その他

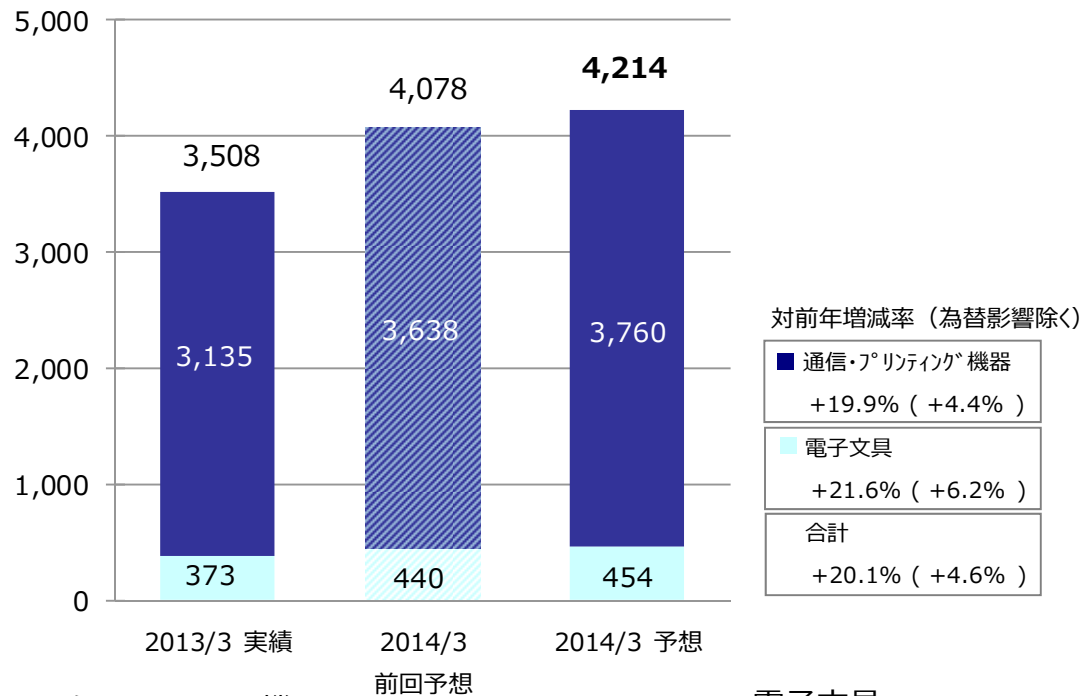
# プリンティング & ソリューションズ 事業

## 売上高・営業利益 <2014年3月期 通期予想>



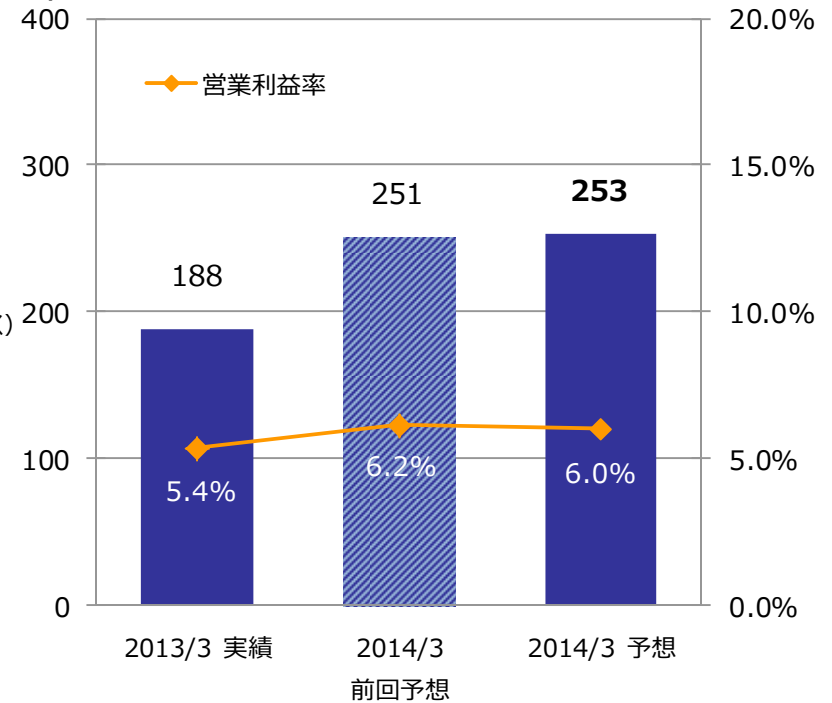
### 売上高

(億円)



### 営業利益

(億円)



#### 通信・プリンティング機器

地域別売上高内訳 (億円)

	12年度	13年度 (前回予想)	13年度 (今回予想)	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	1,193	1,398	1,506	+26.2% (+6.1%)
欧州	1,081	1,243	1,251	+15.7% (△1.5%)
アジア他	406	492	506	+24.7% (+9.6%)
日本	454	505	497	+9.4% (+9.4%)

#### 電子文具

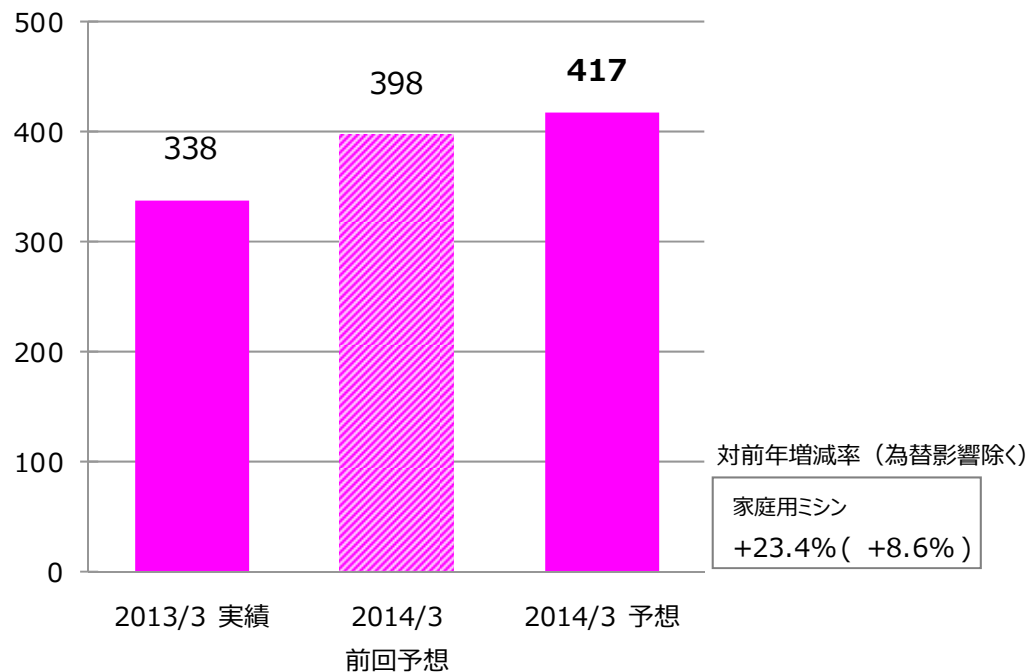
地域別売上高内訳 (億円)

	12年度	13年度 (前回予想)	13年度 (今回予想)	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	176	206	212	+20.8% (+4.0%)
欧州	114	136	139	+22.3% (+3.7%)
アジア他	43	53	55	+28.0% (+11.6%)
日本	41	45	48	+16.5% (+16.5%)

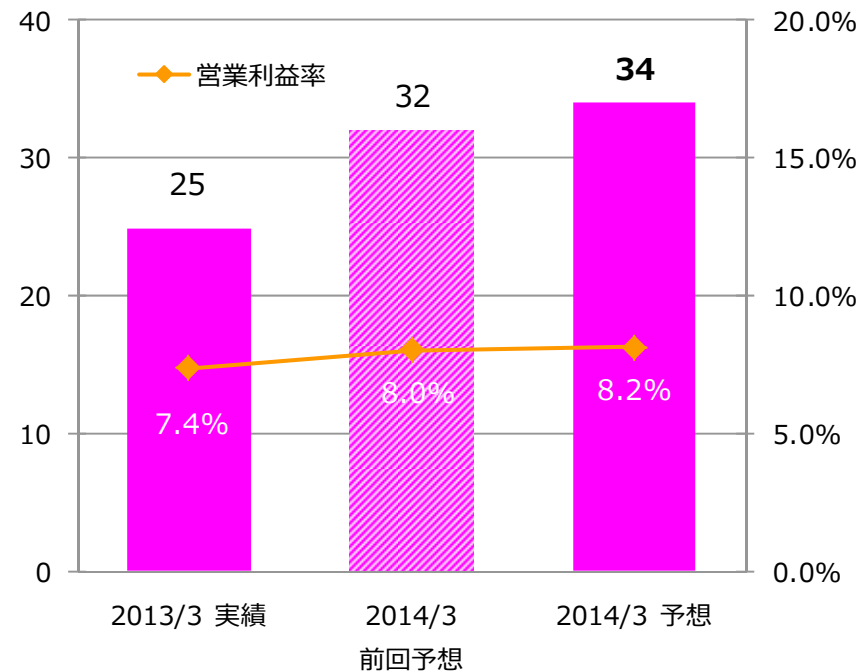
# パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益 <2014年3月期 通期予想>



## 売上高 (億円)



## 営業利益 (億円)



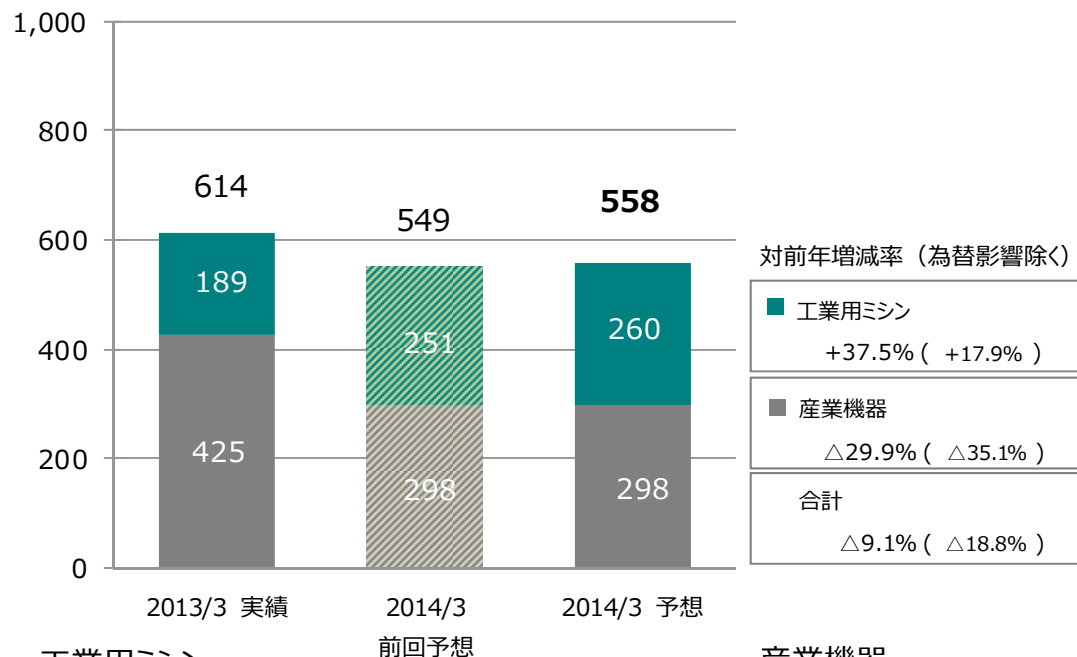
### 家庭用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	12年度	13年度 (前回予想)	13年度 (今回予想)	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	174	205	222	+27.6% (+10.2%)
欧州	78	91	96	+23.5% (+3.8%)
アジア他	28	35	36	+29.9% (+14.7%)
日本	59	67	63	+7.4% (+7.4%)

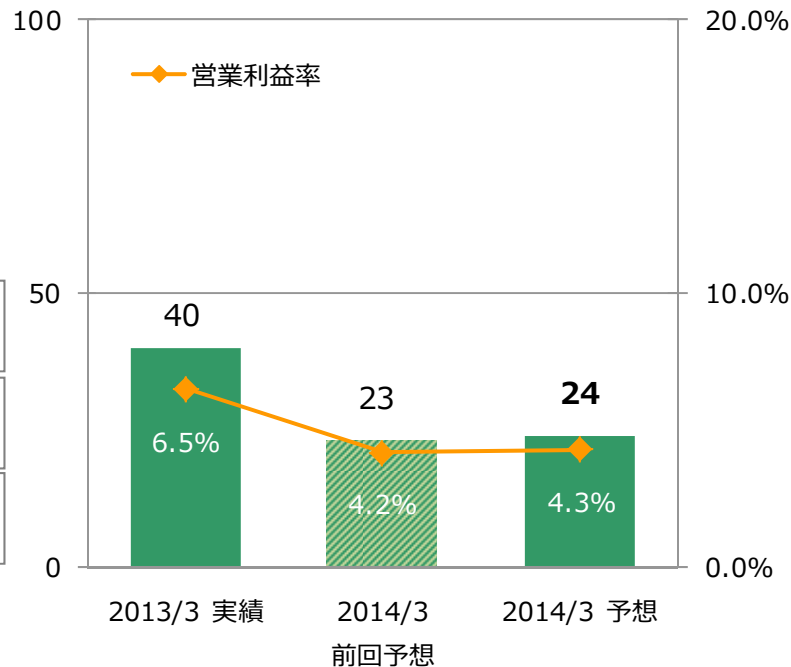
# マシナリ&ソリューション事業 売上高・営業利益 <2014年3月期 通期予想>



## 売上高 (億円)



## 営業利益 (億円)



### 工業用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	12年度	13年度 (前回予想)	13年度 (今回予想)	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	36	42	43	+18.7% (+2.2%)
欧州	30	39	38	+27.1% (+7.3%)
アジア他	117	166	174	+48.1% (+26.7%)
日本	5	4	5	$\Delta$ 9.1% ( $\Delta$ 9.1%)

### 産業機器 地域別売上高内訳 (億円)

	12年度	13年度 (前回予想)	13年度 (今回予想)	対前年増減率
米州	20	18	20	$\Delta$ 0.5%
欧州	11	13	13	+15.2%
アジア他	348	232	228	$\Delta$ 34.4%
日本	46	35	37	$\Delta$ 19.7%

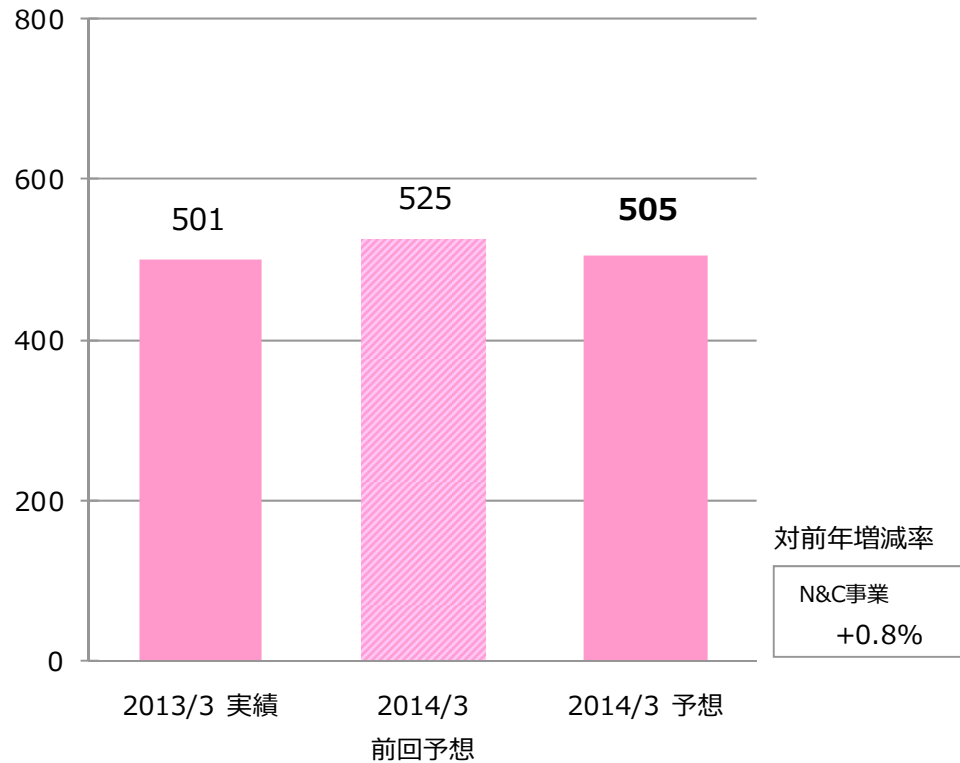
※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。



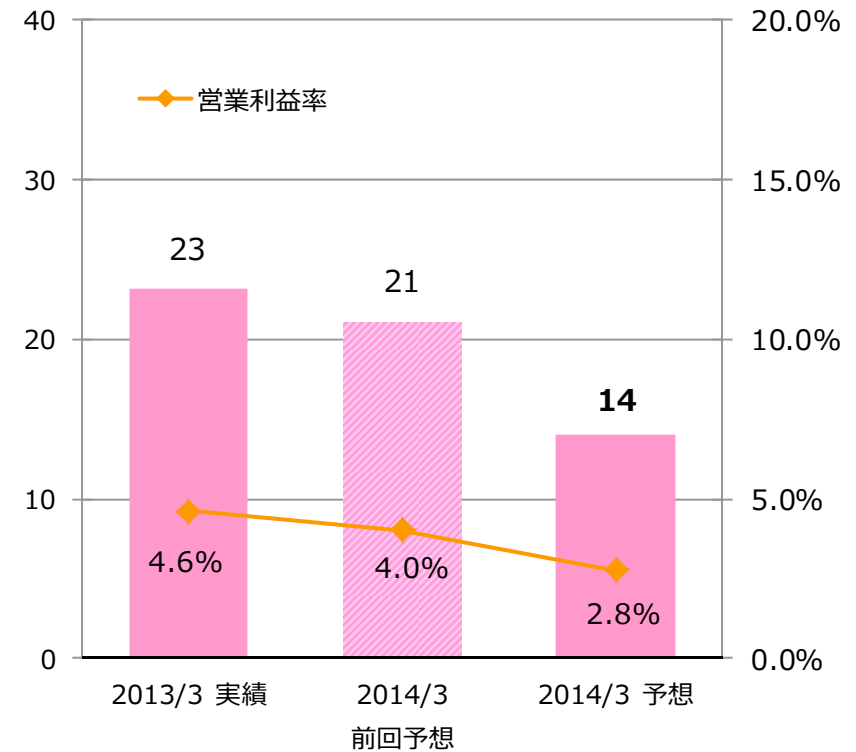
# ネットワーク&コンテンツ事業 売上高・営業利益 <2014年3月期 通期予想>



## 売上高 (億円)



## 営業利益 (億円)



※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

# 連結決算の概要 < 2014年3月期 2Q (7-9月実績) >



単位：億円

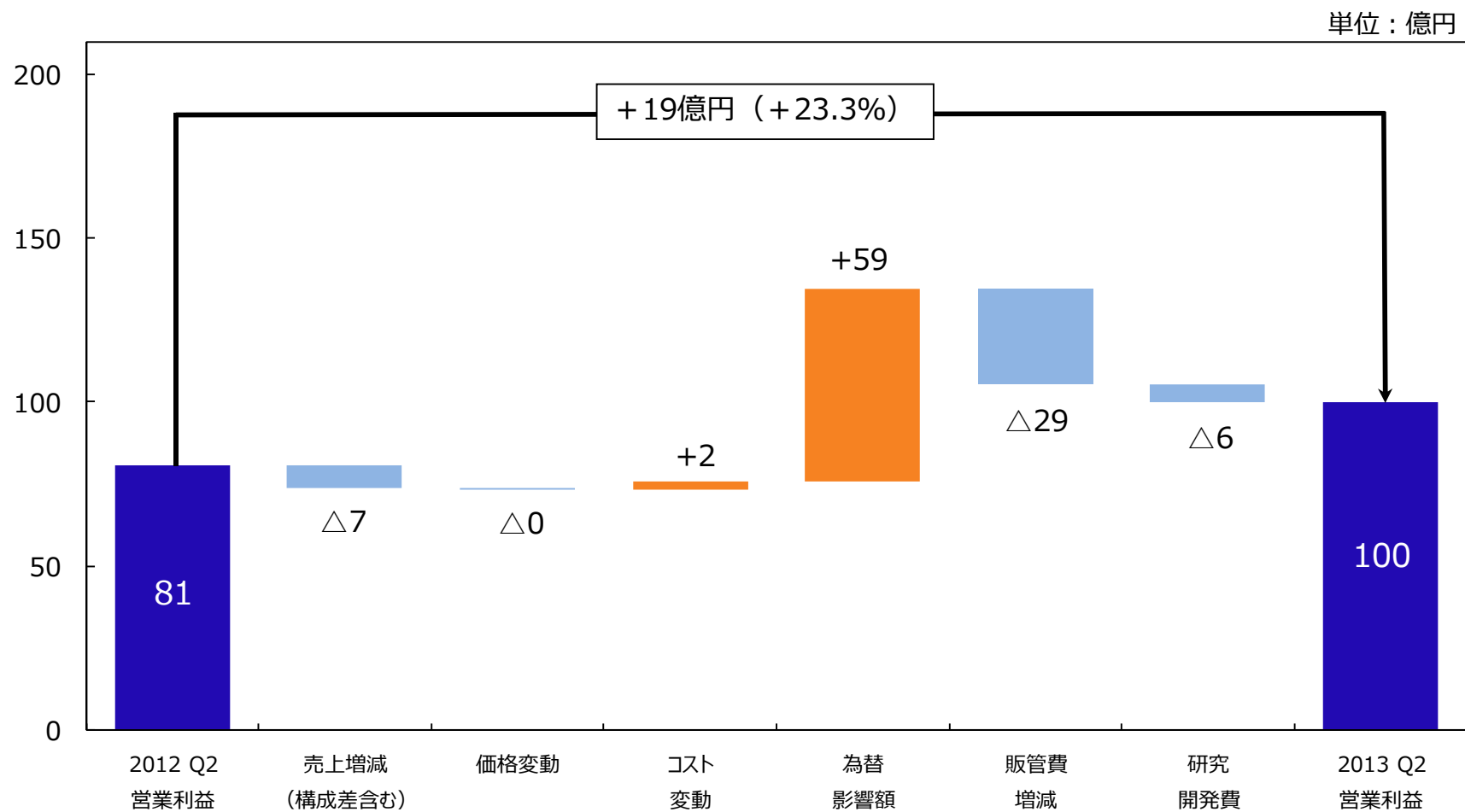
	第2四半期 3ヶ月間			
	2014/3 2Q (3ヶ月実績)	2013/3 2Q (3ヶ月実績)	増減額	増減率 ( )は為替影響を 除いた増減率
売上高	1,490	1,239	252	20.3% (2.1%)
営業利益	100	81	19	23.3%
営業利益率	6.7%	6.5%	0.2%	
営業外損益	△ 5	△ 3	△ 2	
経常利益	94	78	17	21.3%
特別損益	△ 3	△ 4	0	
法人税他	40	29	11	
四半期純利益	51	45	6	12.3%

単位：円

換算レート	USD	98.20	78.42	19.78
		EUR	130.17	98.30

- 売上高は、産業機器及び通信カラオケ機器の売上が大幅な減収となったものの、為替のプラス影響や、通信プリンティング機器が堅調に推移したことにより、増収となる
- 営業利益は、産業機器・通信カラオケ機器の減収や、販管費の増加などの要因はあるものの、為替のプラス影響が大きく、増益となる。

# 営業利益増減要因 <2014年3月期 2Q（7-9月実績）>

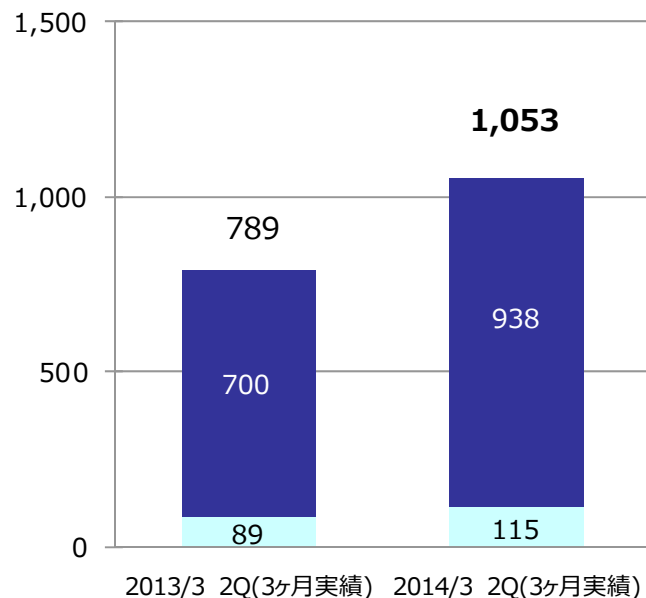


# プリンティング & ソリューションズ 事業

## 売上高・営業利益 <2014年3月期 2Q (7-9月期)>



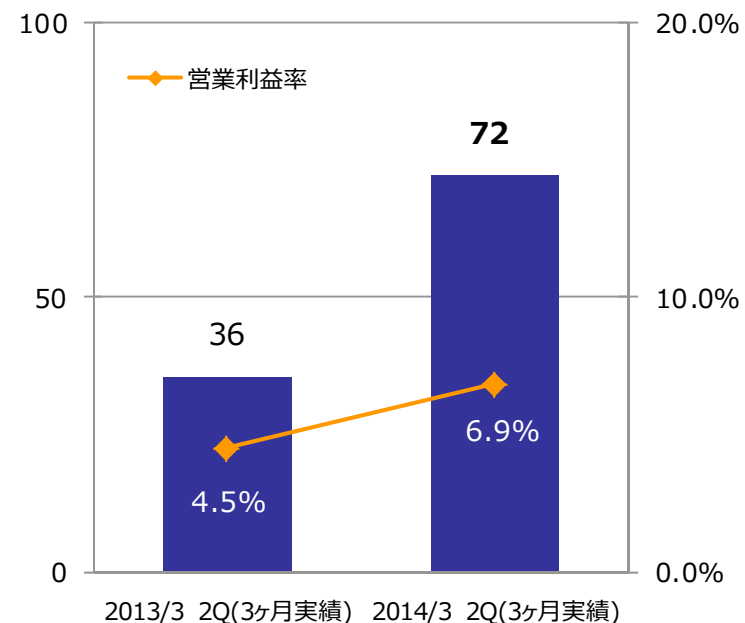
### 売上高 (億円)



増減率 (為替影響除く)

通信・プリンティング機器	+34.0% (+10.5%)
電子文具	+29.8% (+5.8%)
合計	+33.5% (+10.0%)

### 営業利益 (億円)



### 通信・プリンティング機器

地域別売上高内訳 (億円)

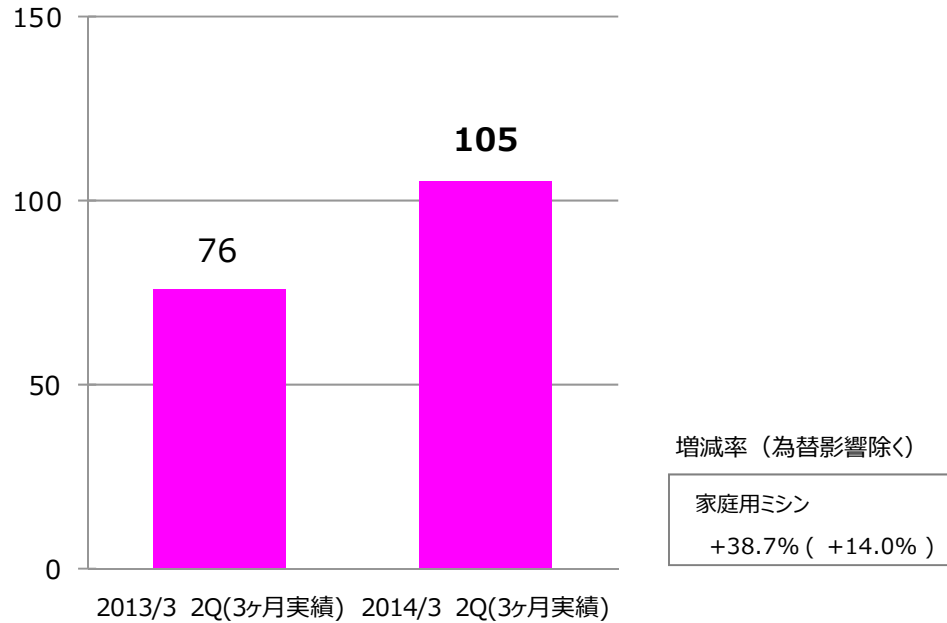
	2013/3 2Q(3ヶ月実績)	2014/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	271	383	+41.4% (+14.5%)
欧州	221	295	+33.3% (+2.2%)
アジア他	97	134	+38.7% (+14.9%)
日本	111	126	+13.3% (+13.3%)

### 電子文具

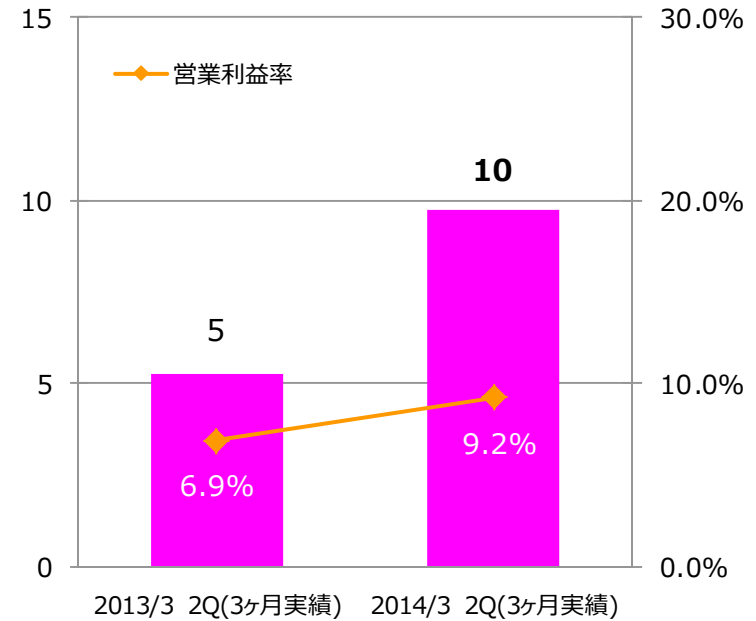
地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 2Q(3ヶ月実績)	2014/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	42	55	+32.5% (+6.9%)
欧州	26	34	+32.6% (+1.5%)
アジア他	10	13	+38.4% (+12.2%)
日本	11	12	+5.7% (+5.7%)

売上高  
(億円)



営業利益  
(億円)

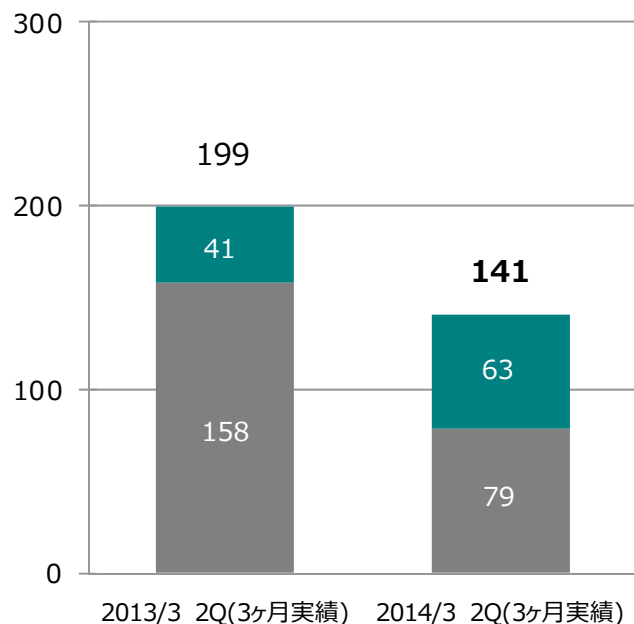


家庭用ミシン  
地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 2Q(3ヶ月実績)	2014/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	39	59	+52.1% (+23.0%)
欧州	17	25	+45.8% (+10.1%)
アジア他	7	8	+26.2% (+5.0%)
日本	13	13	△3.0% (△3.0%)

### 売上高

(億円)

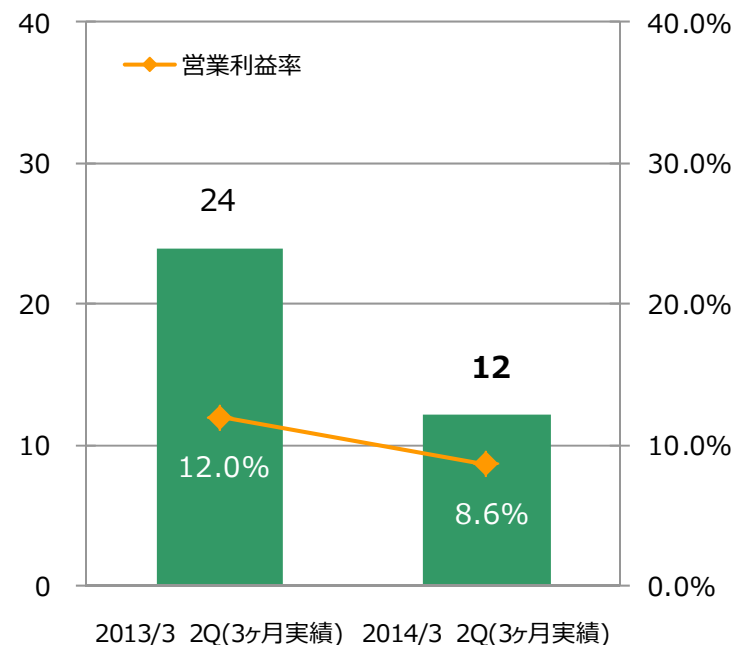


増減率 (為替影響除く)

工業用マシン	+51.6% ( +19.9% )
産業機器	△50.2% ( △54.4% )
合計	△29.1% ( △39.0% )

### 営業利益

(億円)



### 工業用マシン

地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 2Q(3ヶ月実績)	2014/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	8	11	+43.9% (+15.1%)
欧州	6	9	+42.3% (+7.5%)
アジア他	26	41	+58.3% (+24.7%)
日本	1	2	+12.0% (+12.0%)

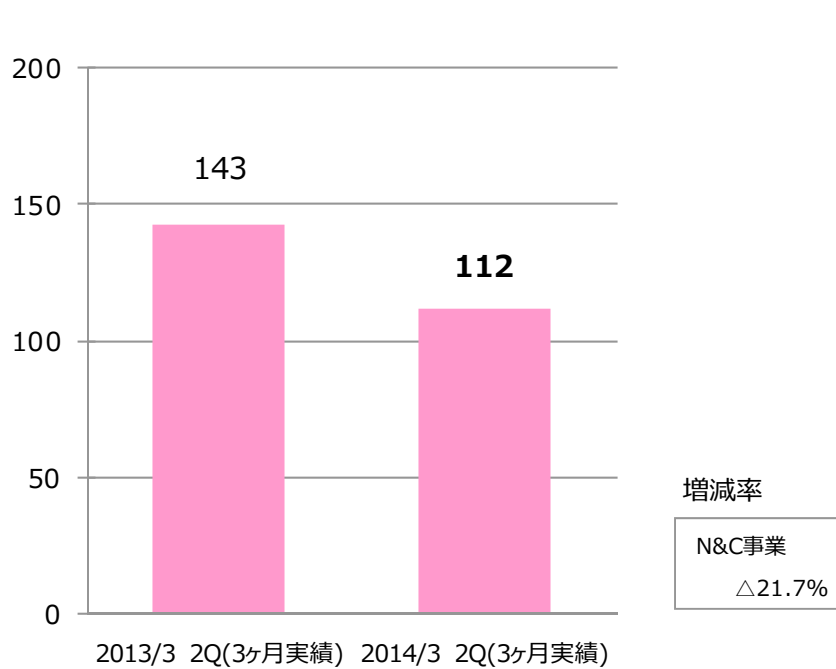
### 産業機器

地域別売上高内訳 (億円)

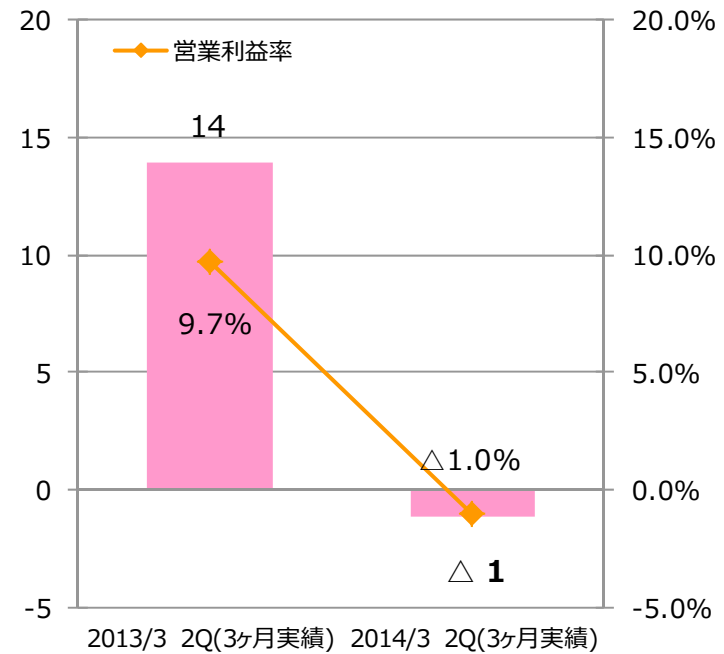
	2013/3 2Q(3ヶ月実績)	2014/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率
米州	4	5	+10.7%
欧州	2	3	+43.4%
アジア他	139	60	△56.8%
日本	13	11	△15.5%

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

### 売上高 (億円)



### 営業利益 (億円)

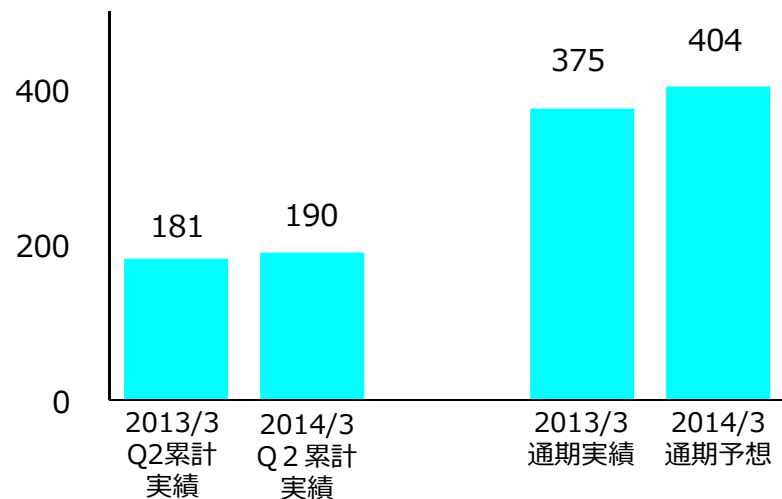


※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

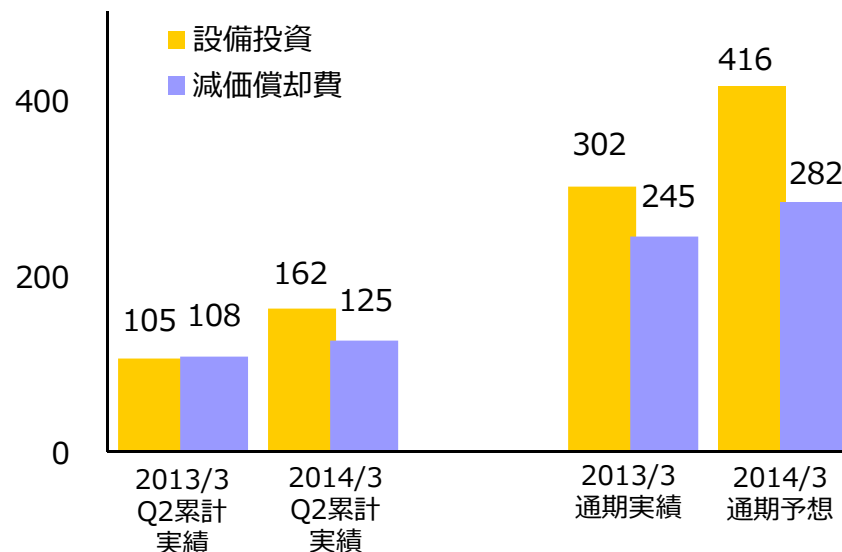
# 【参考】研究開発費・設備投資・減価償却費・ 棚卸資産



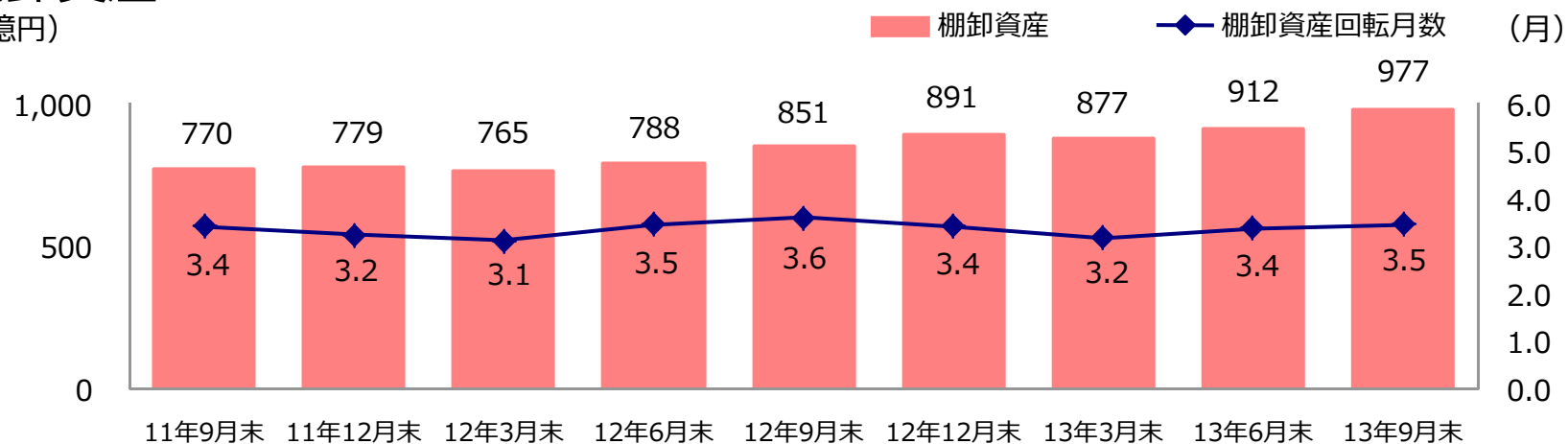
## 研究開発費 (億円)



## 設備投資・減価償却費 (億円)



## 棚卸資産 (億円)



※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)



**brother**  
at your side